

2016年 鈴鹿 Clubman Race
Round 2 レポート



2016. 4. 3 古場 博之

鈴鹿クラブマンレース第2戦に出場しました。第1戦は仕事の都合で出場できず、若手の平選手が走りましたが、レースでは激しいトップ争いを見せるなど、マシンの方は優勝を狙えることがわかりました。

予選は後半にタイムを上げられず9位。決勝は順位変動は少なかったものの、トップが最後の方まで視界の中に入るほどの混戦の争いでした。

また、今回のレースでの収穫は、初めて130Rを全開で走れるようになったこと。ボトムスピードも180kph後半で曲がれるようになったのは嬉しかったです。

またレース中には走り方やマシンのセッティングの方向性などもわかってきたと思いますので、今後のレースに活かしたいと思います。

今回もサポート・応援ありがとうございました。

《エントリー》

エントリー名：ダンロップ ミッドランド Winmax レプリ

車両型式：VITA-01

車両番号：816

オイル：ミッドランド

ENG: Walzer Ow-20

T/M: AK-6 Extream

メンテナンス：有限会社 レプリスポーツ

ドライバー：古場 博之

《結果》 鈴鹿サーキット 西コース(3.475km)

予選 (15分)

順位：9位 (21台出走)

ベストタイム：1'30.929 (6周目/10周)

トップタイム：1'29.952 (#71 中里紀夫選手)：0.977秒差

決勝 (12周)

順位：7位 (21台出走)

合計タイム：18'37.601

優勝タイム：18.30.575 (#78 鍋谷武選手)：7.026秒差

ベストタイム：1'31.317 (8周目)

ファステストタイム：1'31.147 (#79 米田弘幸選手)：0.170秒差